

第 2 回 栗東市地域福祉計画委員会 要点録

(2026 年 3 月 19 日作成)

1	会 議 の 名 称	栗東市地域福祉計画委員会ならびに栗東市地域福祉活動計画委員会		
2	会議の開催日時	2026 年 3 月 13 日(金) 午後 1 時半～3 時半		
3	会議の開催場所	コミュニティセンター治田東 大会議室	公開の可否	○可・一部不可・不可
4	事務局(担当課)	社会福祉課	傍聴者数	0 名
5	非 公 開 の 理 由 (非公開(会議の一部非 公開を含む。)の場合)			
6	協 議 事 項	(1) —①「第 4 期栗東市地域福祉計画」に係る令和 7 年度事業計画の 1 月末 時点進捗管理 (1) —②「第 3 次栗東市地域福祉活動計画」に係る令和 7 年度事業計画の 1 月末時点進 捗管理 (2) グループワーク「アンケート調査で市民に聞いてみたいこと」～次期 計画の策定に向けて～		
7	審 議 等 の 内 容	別紙のとおり		

栗東市地域福祉計画委員会ならびに栗東市地域福祉活動計画委員会要点録

2026年3月13日（金）開催

開 会

事務局（栗東市）

定刻になりましたので、栗東市地域福祉計画委員会ならびに栗東市地域福祉活動計画委員会を開催します。開催にあたりまして、市民憲章を唱和します。

（市民憲章唱和）

事務局（栗東市）

それでは開会にあたりまして、事務局を代表して 栗東市健康福祉部長 青木 利英 より挨拶申し上げます。

（あいさつ）

事務局（栗東市）

本日の進め方ですが、2部構成とさせていただきたいと思います。

第1部では報告事項を説明させていただきます。地域福祉計画と地域福祉活動計画について、令和7年度事業計画の1月末時点の進捗を報告させていただきます。計画の報告に関しましては、それぞれの委員長に議事進行をお願いいたします。

その後、第2部ではグループワークにて皆様方からご意見を頂きたいと思います。

栗東市では、令和10年度からの次期計画の策定にあたり、両計画に市民の皆さまの意見を広く反映することを目的として、次年度は市民に向けたアンケート調査を実施する予定です。そこで今回、委員の皆様方には2つのグループに分かれ、現在の地域課題や次期計画で取り組むべき内容を踏まえながら、「市民アンケートでぜひ聞いてみたいこと」をテーマに、グループワークをしていただきたいと考えております。

地域福祉計画における市民アンケートは、市民のニーズを把握し、計画の方向性を定めるための重要な機会となります。皆様方は常日頃から市内において様々なお立場で地域福祉に関わって頂いている方ばかりですので、皆様の経験や視点を活かし、多様な観点から有意義なご提案をいただければ幸いです。

公開について

事務局（栗東市）

本日の委員会につきましては、18名の委員のうち13名の委員が出席しており、本委員会が成立していることを報告します。加えまして、当会の開会にあたりまして3点ご確認をお願いします。

1点目でございます。

本日の資料を確認します。（順番に確認）

2点目です。本市では「栗東市附属機関等の会議の公開に関する規則」において会議は基本的に公開となっております。ただし、内容によって非公開に該当する事項がある場合は協議により公開・非公開の決定をいただきます。会議を非公開とするのは主として個人情報や財産の保護、事業

の意思形成過程にあるため、公開にすることで支障が生じる場合などです。この委員会においてはそのような理由に該当する事項がありませんので基本的に公開するものと考えられます。また議事録においても同様です。

つきましては、この会議の公開とすることについてお決めいただきたいと思います。

この委員会を公開としてよろしいでしょうか。

(異議なし)

ご異議等ないようですので、本委員会を公開といたします。

(1) - ①「第4期栗東市地域福祉計画」に係る令和7年度事業計画の1月末時点進捗管理

村田委員長

協議事項の(1) - ①について、事務局より説明をお願いします。

事務局(栗東市)

説明させていただきます。

(資料1a「第4期栗東市地域福祉計画評価・検証シート(R7下半期進捗)ピックアップ版」に沿って説明)

村田委員長

ただいま、事務局(栗東市)より計画進捗状況の説明がありましたが、委員の皆様から何かご意見やご質問はありますか？

村田委員長

まず私から一点よろしいでしょうか。昨年12月に行われた民生委員・児童委員の一斉改選について、栗東市においては現在100%の充足率ではないとのことですが、選任状況としては具体的にどのようなになっているのでしょうか？

事務局(栗東市)

ありがとうございます。栗東市としては主任児童委員を含め、現在194名の市の設定人数のうち138名が民生委員・児童委員に選任されている状況です。

村田委員長

ありがとうございます。そもそも栗東市では民生委員・児童委員の定員の設定が他市と比べても多い部分もあり、充足がなかなか厳しいところもあるかと思います。民生委員・児童委員をはじめとした地域活動やボランティア活動の担い手不足については、大きな地域課題の一つでもありますので、それぞれの活動や魅力を知っていただき、活動したいと思われる方が増えていけばと思います。

他にご意見・ご質問はありませんでしょうか。

委員

今回、資料 1a の「第 4 期栗東市地域福祉計画評価・検証シート（R7 下半期進捗）ピックアップ版」を用いて、計画全体の評価・検証からいくつかの項目を抽出してご説明されたのかと思います、今回それぞれの項目を取りあげた理由などはあるのでしょうか？

事務局（栗東市）

ありがとうございます。今回資料 1a にてピックアップして説明させていただいた項目は、社会福祉課で今年度特に力を入れた項目や事業を重点的に取り上げさせていただきました。

村田委員長

今年度、重点的に取り組まれた生活困窮者支援やひきこもり支援などについては、おそらく十数年前の頃では地域の課題として挙がってくることが少なかった項目なのかなと感じています。今回取り上げていただいた重点項目につきましては、この後行う予定のグループワークの内容にも関わるテーマかと思いますので、その際に委員の皆様それぞれの立場から感じられる課題やご意見をぜひお聞かせ願いたいと思います。

他に、ご意見等ないようですので、（１） - ②「第 3 次栗東市地域福祉活動計画」に係る令和 7 年度事業計画の 1 月末時点進捗管理に移らせていただきます。

（１） - ②「第 3 次栗東市地域福祉活動計画」に係る令和 7 年度事業計画の 1 月末時点進捗管理

事務局（社協）

説明させていただきます。

（資料 3 「第 3 次地域福祉活動計画 令和 7 年度進行表 ピックアップ版」に沿って説明）

岡野委員長

ただいま、事務局（社会福祉協議会）より計画進捗状況の説明がありましたが、委員の皆様から何かご意見やご質問はありますか？

委員

計画の進捗管理として目標値がしっかりと挙げられているのは、非常に良いことだと思います。ただフォーラムの参加人数等とは異なり、「ひきこもり相談」などの相談実績については、あえて目標値を達成するために動くようなものでもなく、相談が必要な課題を持つ方は本来少ない方が望ましいのではないかという印象を持っています。そのため目標値を設定している具体的な理由や根拠などがあれば、教えていただきたいです。

事務局（社協）

ありがとうございます。ひきこもりの課題については潜在化することが多い傾向にあります。全国的な統計を栗東市の人口比で置き換えただけのものではありませんが、市内でも約800人、ひきこもりの課題を抱えた方がいらっしゃるかと推定できます。もちろんその中には相談できない方や声をあげられない方もいらっしゃるかと思いますので、そういった方が相談に繋がってほしいという意図で目標値を設定しています。

岡野委員長

ありがとうございます。直近のひきこもりの実態調査では、前回の調査から約30万人ひきこもりの課題を抱える方が増えたとの統計が出ているとのことで、その全てが支援につながっているとはいえないのが現状だと思います。栗東市においても800人あまりのひきこもりの方がいらっしゃるかの推計もありますので、可能な限り把握に努めていきたいという意味での目標値の設定ということですね。

他に、ご意見等ないようですので、進行を村田委員長にお返しします。

村田委員長

ありがとうございます。以上をもって協議事項（１）を終了させていただきます。では議事進行を一旦、社会福祉課へお返しします。

(2)グループワーク「アンケート調査で市民に聞いてみたいこと」～次期計画の策定に向けて～

事務局

ここからは第2部に移ります。第2部の進め方ですが、グループワークに先立ちまして、村田委員長より最近の地域福祉のトピックスについて話題提供をお願いできればと思います。

ではこれより進行は村田委員長にお願いしたいと思います。村田委員長よりお願いいたします。

村田委員長

あらためまして、これより進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

最近の地域福祉のトピックスということですが、地域福祉ではこれまでの縦割りでの福祉に対し、横のつながりをつくっていく重層的支援が近年多くの自治体で取り組まれています。どうしてもこれまでの福祉というと、高齢者、障がい者、こどもという分野ごとの課題に対応してきた経緯があるわけですが、近年ではひきこもりのような世代を問わず、誰もがあるきっかけで陥ってしまうような課題も問題化してきていますので、孤独・孤立の課題に対しても地域の中で支援していく必要があります。

そうした中では、「包括的な支援体制」の構築が重要になってくるのですが、地域の中で課題を持つ方を取りこぼさないよう、地域で包み込んで支援できるようにするためにも、従来の専門的な支援機関に加え、異なる分野の機関や住民の方々のボランティアをつないで支援していくのが大切であると考えています。

また阪神淡路大震災や東日本大震災と、日本では数十年に一度は大きな震災が起こるというのを繰り返してきているわけですので、防災・減災はこれまでもこれから地域の中でともに考えていけないといけないテーマなのかなと感じています。

また移動支援というテーマも近年の地域福祉では話題として挙げられることが多い印象があります。どの地域でも路線バスの本数が減少傾向にあり、コミュニティバスも期待している程の活用ができなかったりする中で、公共の移動手段を今後地域でどのようにつくっていくかも一つの大きなテーマであると考えています。

委員の皆様には、まずは栗東市に住む生活者として、そして様々な団体での活動者として、栗東市での地域の課題や、地域に必要なと思う社会資源を挙げていただければと思います。また先ほど事務局からも説明がありましたが、次年度は次期計画策定に向けた市民アンケート調査を実施する予定ということですので、この機会に市民の皆様聞いていたいことなども、地域の課題や社会資源から派生させて考えていただければと思います。

それではこれよりグループワークに移らせていただきます。

●あなたが感じる地域の課題

- ・住民同士のコミュニケーションの希薄化
- ・単身世帯の増加
- ・高齢者の居場所の減少
- ・自治会活動、地域行事の減少
- ・新しく転入した人と関わる機会が少ない
- ・こども会の加入率減少、解散
- ・近所の大人がこどもを叱ってくれなくなった
- ・自家用車以外の移動手段が乏しい

●栗東市にあればうれしい取り組みや社会資源

- ・こどものあそび場（ボール遊びができるような）
- ・地域の住民同士で気軽に集まれるイベント、施設の整備
- ・交通整備等の計画的なまちづくり
- ・他の自治体との連携
- ・地域ボランティアの増加
- ・地域全体での見守り活動
- ・困りごとを集めるボックス（目安箱）
- ・災害時の要支援者への対応
- ・移動手段の多様化（送迎用の車レンタル等）

●アンケートで市民に聞いてみたいこと

- ・福祉避難所に対するニーズ、要望
- ・今あなたが一番困っている事
- ・住民相互の連携について
- ・困ったときに助けてくれる人が近所にいるか
- ・自治会等の各種団体活動に対する関心と参加意識の有無
- ・民生委員・児童委員の役割を知っているか
- ・様々な福祉制度がどこまで周知されているか
- ・コロナ感染症の影響で中止になった行事はあるか、またその後の行事はどうなったのか
- ・商業施設や公園の利用頻度、今後どんな施設や場所ができたらうれしいか
- ・バスに乗る頻度や希望する本数

○【Bグループ】

●あなたが感じる地域の課題

- ・ごみ出し等の地域のルールを守らない人の増加
- ・ひとり世帯の高齢者の居場所
- ・こども会、老人会の入会者減少
- ・閉じこもりがちになる高齢者の増加
- ・気軽に参加できる居場所が少ない
- ・集団活動の減少、人との結びつきの弱体化
- ・自家用車以外の移動手段が少ない
- ・災害時に備えての住民同士の協働が少ない

●栗東市にあればうれしい取り組みや社会資源

- ・ボランティア活動の充実
- ・様々な場面でのAIの活用
- ・市主催の「まつりごと」（植樹祭等）
- ・時代に即した情報発信のしくみ
- ・ひとり親の方の相談の場
- ・障がいのある方々にやさしい取り組み
- ・井戸端会議ができる場所
- ・住民の興味に沿った気軽に参加できるイベントや居場所
- ・こまめな安価な送迎サービス等の移動支援
- ・こどもの登校時の見守り・声掛け運動
- ・ひきこもり相談の場や居場所

●アンケートで市民に聞いてみたいこと

- ・ボランティア活動への参加意識
- ・防災、減災に対しての意識や取り組み
- ・あなたにとっての居場所はどこか
- ・地域で無くなった行事や事業で復活してほしいもの
- ・日常生活でよく行く場所とそこへ行くための移動手段
- ・現在主に利用している移動手段がなくなった場合にどうするか
- ・公共（行政）の中でやってほしい取り組み
- ・地域の公園の利用頻度
- ・家事や仕事以外での活動の場があるか
- ・地域のために自身で協力できそうなことはあるか

岡野委員長

皆様お疲れ様でした。皆様のご意見を聞かせていただくと、コロナ禍以降、地域とのつながりが希薄化していると実感されている方が多いことがあらためて分かりました。現在の状況を見ると、こうした地域での関係の希薄化というのは、ある程度行くとこまで行ってしまうのではと感じています。ただそうした状況から、いかに再生力、レジリエンスをつくっていくことが大切で、もう一度つながりを紡ぎ直していこうという志を広げていくことが、この地域福祉計画の究極の役割ではないかと思いました。

グループワークでは、皆様から様々なアイデアをいただきましたが、個人的には栗東市にあればうれしい取り組みや社会資源として、困りごとが回収できるようなボックスがあればすごく良いのではと感じました。結構今時は自身の困りごとは人には言いたくないという雰囲気がありますが、地域住民の困りごとを集約したうえで、公共空間を作っていく取り組みが必要なのではないかと思いました。

たとえば地域の公園の活用方法などはもっと皆で積極的に考えていくことが必要ではと感じています。手前味噌にはなりますが、私にも孫がいて、学校から帰ってくると鞆をおいてすぐ児童公園に遊びに行っています。それは公園に上学年を含めたこどもが居て、遊ぶのが楽しいからその場に行くのだと思います。そういった意味でもこどもの頃から行ける地域のあるというのは非常に重要で、学校の役割もとても大きいのかなと思います。

最後に今回も野球を絡めた話にはなりますが、先日 WBC にて侍ジャパンは第二ラウンドへの進出が決定しました。これまでの第一ラウンドでも、やはり調子が良かった選手もいれば、不調だった選手もいます。野球に関わらずこうした好調不調というのはどうしてもありますが、好調の選手も不振の選手も一丸となって、チームの皆が力を合わせることができれば、WBC も良い結果になるのではと思っています。この地域福祉計画を通じて、栗東市の皆様が一丸となれるような地域社会づくりが少しずつでも進んでいけば、とても大きな力になるのではないかと感じました。

本日はありがとうございました。

事務局

委員長、ありがとうございました。また、ご参加いただいた委員の皆様、ありがとうございました。

今回のグループワークでは、地域の課題や次期計画で取り組みたい内容、市民アンケートで聞いてみたい事柄について、多角的かつ建設的なご意見をいただくことができました。皆様の豊富なご経験と鋭い洞察から生まれたアイデアは、次期地域福祉計画を形作るうえで欠かせない貴重な材料となるものと確信しております。

地域福祉計画の基本理念である「つながり支え合い だれもが 安心して暮らせるまちづくり」に向け、今回いただいたご意見やアイデアをあらためて精査するとともに、これまでの委員会で行ったグループワークの内容も併せて参考にさせていただきながら、今後策定するアンケート内容に最大限反映できるよう、事務局で準備を進めてまいります。もちろん、さらなる検討が必要な事柄につきましては、次の委員会や皆様とのご相談を通じて進めてまいりますので、引き続きお力添えをお願い申し上げます。

次年度にも、本委員会の開催を予定しておりますので、ご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。以上をもちまして閉会とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

ました。

以上